

ご挨拶

本来ですと、ここで今後二年間の学会運営に関する抱負と決意を述べ、併せて会員各位のご支持とご支援をお願いしなければならないのですが、いまだ明確に形を取った抱負をもてないでおります。汗顔の極みであります。歴代の理事長・学会長が営々と築かれた、牢乎としたいしずえの上に胡坐をかいてうたたね、そういう状況にあります。以下、不作法を承知で、今朝考えるともなく脳裏をよぎったものを意識流ふうに書き連ねてみました。他愛もない数珠つなぎですが、これを以てご挨拶の責めを塞ぐことをお許し願えれば幸甚です。

今、自分は某府立高校の進学相談会に出席するため、最寄り駅から大阪梅田へ向かう電車で揺られている。これは学部入試委員会から割り振られた仕事。昨日は、大学間交流協定で中国の大学から来ている留学生の進学相談にかなりの時間を割いた。あれは交流の窓口になっているコンタクトパーソンであるがゆえの仕事だった。今日は進学相談会が終わると大学に取って返し、研究科要覧の校正をしなければならない。これは所属する研究科の三週間後に迫った入試説明会に間に合わせるため、研究科広報・社会貢献検討委員会から割り振られた仕事である。

ん？なんか学生集めばかりやな、偶然？否！どの仕事も四方八方からやれ！やれ！と

圧力がかかっている。これこれの努力をし、これだけ受験生を増やした、留学生を増やした、根拠となるデータはこれとこれ、こんな報告書を、大学も研究科も学部もこぞって書かんとかあかんのやった。

そう言えば、『中国語学』の出版助成を学振に申請したときもそんなことがあった。2005年の秋、岩田理事長の命を受け申請書作りで一苦労したのは木村前会長だった。どれだけ学術的であるか、どれだけ国際的であるか、どれだけ情報化されているか……、根拠データの提示が求められた。最も頭が痛かったのは『中国語学』掲載論文の海外学術雑誌における引用状況調べである。少得可憐！英語や中国語で書かれた論文を増やさんことにはどうにもならん。投稿する人は、特に若い人は中国語で書いてほしいなあ、英語ももちろん大歓迎。国際化、最後はやはり言葉に帰す、か。

そうそう、毎年、大会開催校捜しでも苦労する。これまで大会開催を引き受けていただいた方々には本当に感謝の言葉がみつからない。今年京都、去年沖縄、その前が愛知、その前が筑波、そしたら来年は関東？東北？北海道？どこになるかな。確か学会の全国大会を開いたりしたら立派な業績になるんだった、もう一度調べておこう……

あ、着いた。大阪の高校生たちはどんな質問を準備しているのだろう。去年の徳島の高

校生たちは卒業後の進路についての質問が多かった。ひょっとしたら、今から顔を合わす高校生たちの中に、第二の岩田、第二の木村がいるかも知れないんだ。文革中であれば「光栄而又艱巨的任務」とでも言うところか。う

ん、これは大学のためばかりでなく、我が学会の将来のためにも頑張らなければ。

2008年5月22日

日本中国語学会会長 杉村博文

会議報告

■2008年度第1回（『中国語学』第255号）編集委員会

日時：2008年3月22日（土）13時～17時
場所：神戸学園都市 UNITY セミナー室
出席者：太田斎（委員長）、井上優、小野秀樹、木津祐子（以上委員）（欠席：沈国威（委員））

【議事】

1. 『中国語学』255号投稿状況

投稿総数は35編。うち1編は、執筆要領違反により、不受理とし、合計34編を受理とした。

2. 『中国語学』255号依頼原稿

Federico Masini氏と陸丙甫氏の2名に掲載論文の執筆を依頼することにした。また、陸俊明、荒川清秀、戴浩一の三氏には第57回全国大会における基調講演要旨の執筆を依頼することとした。

3. 査読者の決定、査読報告書・査読要領の確認

- ・委員長より示された原案に基づき協議を行い、査読者を決定した。
- ・査読報告書・査読要領の改訂内容を確認した。

4. 編集日程の確認

255号の編集日程について確認し、第2回編集委員会を5月10日（土）に開催することにした。

5. 第254号学会奨励賞受賞論文候補の選定

254号掲載論文の中から候補3編を選出。今回の編集委員会で、理事会に推薦する受賞候補を決定することにした。

■2008年度第2回（『中国語学』第255号）編集委員会

日時：2008年5月10日（土）13時～17時
場所：キャンパスプラザ（大学コンソーシアム）京都 2階和室
出席者：太田斎（委員長）、井上優、小野秀樹、木津祐子、沈国威（以上委員）

【議事】

1. 255号投稿論文の採否と総評

受理34編について、採用5編、条件採用6編、不採用23編となった。11編全部が掲載された場合の採用率は32%。分野別投稿本数は以下の通り。

| | |
|----------|---------------------------------|
| 現代語文法 | 18編 |
| 方言 | 8編（うち不受理1編） （方言のうち文法を扱うもの5編） |
| 歴史 | 3編 |
| 教育・社会・統計 | 6編 |

2. 第254号学会奨励賞受賞論文

今年度学会奨励賞候補 1 編を決定し、理事会に推薦することにした。

3. 256 号に向けての審議

近年、海外会員からの積極的な投稿を含め、投稿論文数が徐々に増加しつつある。この傾向を踏まえ、昨年度後半から、以下の点を見直す作業を行っている。

(1)掲載論文中の依頼論文・投稿論文比

(2)誌面構成

- ・ 大会報告の位置づけ
- ・ 特集や書評について
- ・ 彙報（追悼記事や学会動向など）

■2008 年度第 1 回理事会

日時：2008 年 5 月 17 日(土) 13 時半～17 時

場所：関西大学 岩崎記念館 2F 会議室

出席者：杉村博文（会長）、佐藤晴彦（副会長）、荒川清秀、岩田礼、遠藤光暁、木村英樹、平田昌司、古川裕（以上理事）；太田斎（編集委員会委員長）；山崎直樹（ウェブリソース委員会委員長）；澤田達也、鈴木慎吾（以上幹事）

【報告事項】

1. 事務体制について

会長より、鈴木慎吾（京都産業大）・澤田達也両会員を幹事に充て、また会計監査を西川和男（関西大）、中川裕三（天理大）両会員に委嘱した旨が報告された。

2. 編集委員会報告

太田委員長より第 2 回編集委員会について報告があった。

3. ウェブリソース委員会報告

- ・ 山崎委員長より学会ウェブサイトの更新について報告があった。
- ・ ネット会員以外の『電子通訊』配信者は 39 名（2008 年 3 月末現在）。

4. 一般報告

4.1 会員動向（2008 年 3 月 31 日現在）

・ 会員数：

| | | | 増減 |
|------------|-------|--------|-----|
| 総会員数（賛助除く） | | 1139 名 | +11 |
| (内訳) | 顧問 | 6 名 | 0 |
| | 名誉会員 | 25 名 | -1 |
| | 通常会員 | 1075 名 | +11 |
| | (ネット) | 167 名 | +25 |
| | 海外会員 | 33 名 | +1 |
| 賛助会員 | | 23 社 | +2 |

※増減は昨年 11 月 15 日を基準とした数値。

- ・ 会員動向：全国大会後の確定数（2007 年 11 月 15 日）より今年 3 月末までの入会者 19 名；退会者 6 名；逝去 2 名（清水茂氏（名誉会員）、西岡純勝氏）；また賛助会員 2 社増（(株) アイ・エス・アイ、(株) 三省堂）

4.2 役員・委員等の異動

- ・ 副会長：佐藤晴彦（神戸市外国語大）
 - ・ 評議員の異動：
 - 退任：黒坂満輝会員（北海道文教大・北海道）
 - 金昌吉会員（北海道大・北海道）
 - 原由起子会員（姫路独協大・関西）
 - 狩野充徳会員（広大・中国）
 - 新任：松江崇会員（北海道大・北海道）
 - 鈴木慶夏会員（釧路公立大・北海道）
 - 太田斎会員（神戸市外国語大・関西）
 - 小川泰生会員（広大・中国）
- （※新評議員の名簿は p.6 に掲載。）

- ・ 支部代表：
 - 北海道支部：黒坂満輝会員（北海道文教大）
 - 松江崇会員（北海道大）
 - 関東支部：佐藤富士雄会員（中央大）
 - 今井敬子会員（静岡大）
 - 中国支部：小川泰生会員（広大）

→ 郭春貴会員 (広島修道大)

5. 2008 年度大会について

副会長より本年度大会の準備状況について報告があった

6. 支部例会関連

・鈴木幹事より、各支部の今年度の例会世話人と例会実施予定回数について報告があった((関東) 山田忠司会員、4 回 ; (北陸) 大滝幸子支部代表、1 回 ; (東海) 時衛国会員、1 回 ; (関西) 岩本真理支部代表、2 回 ; (中国) 中島吾妻会員、3 回 ; (九州) 佐藤昭支部代表、回数未報告)。

・遠藤理事より、支部代表および例会世話人について、できれば重任は避けるべきで、この点をガイドラインとして理事会から各支部に示してはどうかという提案があったが、これらは基本的に支部の自主裁量事項であり、理事会は支部の報告を受けるだけの立場でいくという方針が会長から示され、理事会の同意を得た。

【審議事項】

1. ウェブリソース委員会提案の審議事項

・山崎委員長より、ウェブ上に過去の『電子通説』所載のエッセイを集積したページを作ることについて提案があり、承認された。

・山崎委員長より、これまでウェブリソース委員会と事務請負業者が分担していた『電子通説』配信先メールアドレスの管理を事務請負業者に一元委託することについて提案があり、承認された。

2. 海外会員の会費支払い方法について

澤田幹事より、海外会員の会費支払い方法に関して、事務が煩雑で手数料も高い「国際郵便為替」と「銀行小切手」の適用を廃止することについて提案があり、承認された。現在の適用者 (5 名) については漸次廃止を通知

することになった。

3. ICANAS (国際アジア・北アフリカ研究会議)

招致について (「東洋学・アジア研究連絡協議会」関連)

特に学問的な領域における参加が可能であれば前向きに検討するという事で合意した。

4. その他

4.1 追悼文について

名誉会員の逝去にかかる追悼文の学会誌掲載について、もし提案があった場合には、そのつど理事会で協議し判断することで合意した。今回、会長より清水茂会員の追悼文掲載について提案があり、承認された。

4.2 理事の任期について

会長より、理事が長期にわたって固定化することは問題であるとの認識が示され、理事の大方の同意を得た。これに対する具体的な解決案については次回までの検討課題とされた。

4.3 「ネット会員制度」見直し

鈴木幹事よりネット会員制度の事務手続きについて、制度促進のための見直し案が示され、次回までに事務局で検討を加えることとした。

4.4 名簿作成の継続について

会長より、個人情報保護の観点から名簿の情報量が極端に減少するようであれば名簿作成の継続に関して議論の必要があるとの見解が示されたが、しばらくは状況を見ながら継続することが確認された。

4.5 予算の活用について

予算の活用に関して意見交換が行われ、学生会員制度、国際会議への助成、事務局費の増額、支部活動費の増額、学会誌の半年刊化などの意見が出され、今後の課題とされた。

事務局からのお知らせ

■ 新事務局発足について

今年4月1日より新事務局が発足いたしました。メンバーは会長杉村博文（大阪大）、副会長佐藤晴彦（神戸市外国語大）、幹事鈴木慎吾（京都産業大）、同澤田達也の4名です。任期は2010年3月末までです。よろしく願いいたします。

■ 名簿データ更新のお願い

今年度は、2年に一度の会員名簿作成の年となっております。会員名簿掲載事項に関するご通知を同封しますので、会員各位のご協力をお願い致します。

■ 2008年度会費納入のお願い

振込用紙を同封しておりますので、本年度会費（一般会員6,000円、ネット会員5,000円）を最寄りの郵便局からお振込下さい。事務運営上、2008年8月末までにご入金くださるよう御協力をお願い致します。

郵便振替 加入者名：日本中国語学会
口座番号：00120-2-536256

なお、これまでの会費を未納の方は振込用紙に記載してありますので、一括してご入金下さいますようお願いいたします。もし記載請求金額が15,000円以上となっておりましたら、今年度ご入金いただけませんと、会則《会費納入に関する内規》により除籍となりますのでご注意ください。

■ 第58回全国大会のお知らせ

日本中国語学会第58回全国大会は京都外国語大学が準備を担当し、10月25日（土）～26日（日）の日程で開催されます。同封の大会ご案内をご覧ください、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

■ 第59回全国大会開催校公募のお知らせ

2008年度に開催される第59回全国大会開催校を募集しております。応募される大学は6月30日までに事務局宛にご連絡ください。7月末までに決定し、通知いたします。

■ 顧問・名誉会員の推挙

顧問・名誉会員のご推挙は、2008年10月8日（水）までに事務局宛にお願いいたします。

■ 事務局の連絡先

事務局への郵便物は、

〒562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪大学外国語学部中国語学研究室内

日本中国語学会事務局宛

で届きます。また各種お問い合わせは、学会ホームページ（<http://www.chilin.jp/>）内の「お問い合わせ」ページもご利用ください。

新評議員名簿（◎は支部代表；下線は新/再任）

| | | | |
|---------|---------------------|----------------------|--------------|
| [北海道支部] | ◎ <u>松江崇</u> （北海道大） | <u>鈴木慶夏</u> （釧路公立大） | |
| [東北支部] | ◎花登正宏（東北大） | 長尾光之（福島大） | |
| [関東支部] | ◎今井敬子（静岡大） | 大塚秀明（筑波大） | 落合守和（首都大学東京） |
| | 佐藤富士雄（中央大） | 朱 継征（新潟大） | 瀬戸口律子（大東文化大） |
| | 町田茂（山梨大） | 松村文芳（神奈川大） | 守屋宏則（明治大） |
| | 矢野光治（立正大） | 山下輝彦（慶応大） | 楊凱榮（東京大） |
| | 吉田隆司（日中学院） | 依藤醇（東京外国語大） | |
| [北陸支部] | ◎大滝幸子（金沢大） | | |
| [東海支部] | ◎鶴殿倫次（愛知県立大） | 黄名時（名古屋学院大） | 丸尾 誠（名古屋大） |
| [関西支部] | ◎岩本真理（大阪市立大） | <u>太田斎</u> （神戸市外国語大） | 玄幸子（関西大） |
| | 沈力（同志社大） | 張黎（大阪産業大） | 中川裕三（天理大） |
| [中国支部] | ◎郭春貴（広島修道大） | <u>小川泰生</u> （広島大） | |
| [四国支部] | ◎増野仁（松山大） | | |
| [九州支部] | ◎佐藤昭（北九州市立大） | 岩佐昌暉（熊本学園大） | 秦耕司（長崎県立大） |

訃 報

平成 19 年 2 月 3 日、清水茂名誉会員が逝去されました。

ここに会員各位にお知らせするとともに、永年にわたって本会ならびに斯学の発展に寄与された先生の多大な功績とご尽力に感謝し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成 19 年 5 月

日本中国語学会会長 杉村博文

学会事務局

〒562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪大学外国語学部中国語学研究室内

E-mail: Jimukyoku.08-10@chilin.jp

URL: <http://www.chilin.jp/>